

生態人類学II(2)

- 4-2. 環境難民
- 4-3. 人間の未来と環境

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業中に課す小レポート30%）と小試験（70%）による。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

梅崎昌裕・風間計博（編）『オセアニアで学ぶ人類学』（昭和堂 2020年）ISBN:978-4-8122-2005-4

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に提示した、生態人類学に関連する文献を読んで理解を深める。
受動的に授業を受けるのではなく、自ら思考する姿勢が求められる。

[その他（オフィスアワー等）]

講義室に収容可能な人数を上限として、受講者数を制限する。希望者が制限を越えた場合には、KULASISによりランダムに選抜する。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部